

とちぎ市議会だより

第57号(3月定例会)
2023.5.19発行

未来へつなぐ絆

特集

新年度予算は過去最大規模 (予算審査) …… 2～3
 委員会の活動 …… 14
 市長へ要望書・提言書を提出 …… 15

一般会計補正予算 (第10号) …… 4
 (3月定例会で決まったこと)
 表紙写真の説明 …… 5
 13人の議員が市政を質す …… 6～12
 (一般質問)

前年度比で69億7千万円の増 741億6千万円



議案第1号
令和5年度
一般会計予算

可決 賛成 24
反対 3

新年度の予算や事務事業計画について「予算特別委員会」を設置し、議長を除く全議員が4つの分科会に分かれて、担当する分野を審査しました。また、全体会では、市の各種施策を踏まえた予算編成全般について、会派の代表者による質疑を行いました。

主な質疑応答

防災ラジオ販売収入等(危機管理課)

質 令和4年度の販売実績と令和5年度の販売見込み台数は

答 令和4年度は、1月末時点で19台を販売している。年度により販売台数は異なるが、令和5年度については目標としている30台分の予算を計上したところである。

結婚新生活支援事業補助金

質 1件当たりの補助金額と申請期間は

答 新婚世帯に対し住居費として最大30万円を助成しており、その申請期間については、婚姻後1年間となっている。

衛生センター施設整備事業費

質 予算の内容は

答 令和12年度までに、し尿処理施設の建て替えを予定しており、令和5年度は施設整備基本構想の策定に係る業務委託を行う予定である。

急患センター管理運営委託事業費

質 現在の診療状況は

答 現在の急患センターは、新型コロナウイルスやインフルエンザの影響で、発熱外来の患者が多くなっている。

一時期よりも減少傾向にあるが、感染防止対策のため、車の中で検査を行っている状況である。

新規就農支援事業費

質 予算額が倍増している主な要因は

答 国の補助メニューが増え、年間150万円が5年間支払われる補助金のほかに、施設整備費用として1千万円補助できるメニューが追加されたことに伴い、市がその1割を補助するためである。

会計年度任用職員人件費(学校教育課)

質 A L T が2名増員となった理由は

答 A L T とのティームティーチングの授業は、児童生徒が外国語を学ぶに当たって重要な機会と捉え、多くの子どもたちに提供できるようにするためである。

ブロック塀等撤去改修工事費補助金

質 事業内容は

答 建築基準法の道路や通学路に面するブロック塀で安全基準に適合していないものについて、撤去費用や改修費用等を補助するものである。

討論(議案第1号)

反対(白石議員)

新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻による物価高騰で地域経済がさらに厳しくなるのは明らかであり、地方自治体には「住民の暮らしと福祉をよくする」という自治体本来の仕事をするのが求められている。物価高騰で暮らしと経営が大きな打撃を受け、地域経済が深刻な状況になっている時だからこそ、本来の役割を果たすことが必要となるが、令和5年度の予算を見ると、市民の命と暮らし、経営を守るために十分な予算措置が取られているとは言い難いため、反対する。

賛成(小堀議員)

令和5年度予算は、総合計画や総合戦略を踏まえ、各種施策をバランスよく網羅するとともに、関係事業を有機的に連携させることにより、効果的・効率的な予算編成となっており、高く評価する。子どもから大人まで全世代が夢と希望を持てるまちづくりを進めるとともに、災害や新型コロナウイルス感染症から市民を守る安全・安心なまちづくりに全力で取り組んでいただき、活力あふれる栃木市を築いていただくことを期待し、賛成する。

**予算
審査**

**令和5年度一般会計予算 2年連続の増加
過去最大の予算規模**

一般会計の当初予算は、斎場再整備事業費やとちぎクリーンプラザ施設保守整備事業費、雨水・浸水対策事業費などにより、前年度比69億7千万円増の741億6千万円となりました。

市長からは、「令和5年度予算を『みんなにやさしい未来づくり予算』と位置付けて市政運営を行っていく。」との説明があり、議会では予算が適切に編成されているか、しっかりと審査しました。

令和5年度の主な事業を紹介します ※1万円未満切り捨て

ふるさと応援寄附事業費
4億5000万円



全国から寄附を募り、謝礼品として市内の特産品を贈呈する

雨水・浸水対策事業費
11億9147万円



浸水被害の軽減を図るため、強制排水施設や調節池等の整備を行う

すくすく子育て応援事業費
889万円



出生時から4カ月の間に育児用品の給付と育児相談を行う

斎場再整備事業費
28億1152万円



PFI手法により、新斎場を整備し運営・維持管理を実施する

**栃木県誕生150年記念
イベント開催事業費**
200万円



栃木県誕生の地として記念行事を開催する

**とちぎクリーンプラザ
施設保守整備事業費**
22億1284万円



施設を長期的に稼働させ、適切な処理を継続するために改良工事を行う

定住促進支援事業費
1億1642万円



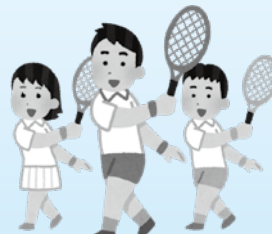
移住定住支援のため、コーディネーターの配置および各種助成を行う

**高機能消防指令センター
総合整備事業費**
7億304万円



新消防庁舎建設に併せ、受信体制強化のため新たに整備を行う

部活動地域移行事業費
176万円



地域移行を進めるため、市立中学校でモデル事業を実施する

3月定例会で決まったこと(主な議案等)

特集ページで取り上げたもののほか、3月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



一般会計補正予算(第10号)

議案第11号
令和4年度栃木市一般会計補正予算(第10号)

可決 全会一致

議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ3億1146万4千円を追加し、予算総額を725億7491万6千円とするもの。
主な内容は、農業生産振興事業補助金や小学校施設整備事業費などの増額と各事業費の実績等による減額である。

主な質疑応答

質 令和4年度に実施した消防団機械器具置場の解体箇所数と減額補正の理由は

答 大平町川連と大平町榎本地内

にある機械器具置場2カ所を解体した。昨年度の事業内容を参考に予算を計上したが、想定よりも比較的安価で実施することができたため、減額補正するものである。

質 今後の機械器具置場解体スケジュールは

答 消防団の再編により不要となった機械器具置場は全部で13カ所あり、そのうち昨年度3カ所、今年度2カ所を解体したところである。残りの8カ所については、ほとんどが借地であり、地権者の要望や経費が多くかかっているところを優先的に実施し、令和8年度の事業完了を予定している。

質 小中学校設備省エネ化推進事業による電気料の削減見込みは

答 照明機器のLED化で約50%、空調設備の更新で約30%の電気料を削減できると見込んでいる。

出産一時金を増額

議案第25号 栃木市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

可決 全会一致

議案の概要

健康保険法施行令の一部改正に準じ、出産一時金の額を改める必要が生じたため、条例の一部を改正するもの。

主な質疑応答

質 出産育児一時金が増額となった経緯は

答 全国的に出産費用が高額であることから、実情に合わせて出産育児一時金を現行の40万8千円から48万8千円に引き上げる健康保険法施行令が改正された。なお、厚生労働省が公表している分娩費は、全国平均が45万2288円、栃木県の平均が46万8764円であり、今回の引き上げで分娩費を賄うことが可能であると考える。

質 出産育児一時金の増額に伴う財源は

答 出産育児一時金の増額分については、3分の2が地方交付税で措置され、令和5年度は1件当たり5千円が国から追加で補助される。

弓道場を廃止

議案第33号 栃木市公園条例及び栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部を改正する条例の制定

可決 全会一致

議案の概要

西方総合公園の弓道場を廃止するに当たり、条例の一部を改正するもの。

主な質疑応答

質 西方総合公園弓道場の設置時期と近年における年間利用日数は

答 西方総合公園の完成当初から設置されており、年間の利用日数は令和元年が73日、令和2年、令和3年が各1日であり、令和4年については利用がなかった。



本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案番号と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 議案第1・2・3・4号 ●白石 幹男 議員 ○小堀 良江 議員
- 議案第20号 ●針谷 育造 議員 ○古沢ちい子 議員
- 議案第37号 ●針谷 育造 議員

討論(議案第20号)
反対(針谷育造議員)

これまでの条例が個人の権利や利益の保護を目的としていたのに対し、本案は行政の持つ個人情報をも民間営利企業に開放しようというものであり、個人情報保護から活用へと考え方を大きく変えるものである。これによりプライバシーが侵害される恐れがあるとともに、自治体がこれまで積み上げてきた仕組みを廃止し、全国的な共通ルールを適用することは地方自治の侵害にもつながることから本議案に反対する。

賛成(古沢議員)

これまで別々の法令により運用されてきた個人情報保護制度が令和3年の法改正により一元化され、地方公共団体においても令和5年4月1日以降、改正法による全国共通ルールが適用される。本案は法の趣旨を踏まえ、法との整合性を整理した上で、法が許容する一定の事項のみを法律施行条例に規定したものであり、条例の形式は異なるが、個人の権利・利益を保護する点において実質的には変わらず、現行条例の目的を後退させるものではないため、本議案に賛成する。

議案等の審議結果

3月定例会では、議案50件、陳情1件、議員案1件が審査されました。賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。※陳情第1号については、賛成者はいませんでした。 賛成：○ 反対：●

番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
			川田 俊介 真政クラブ	小太刀孝之 創政会	市村 隆 真政クラブ	雨宮 茂樹 公明党議員会	森戸 雅孝 真政クラブ	浅野 貴之 かがやき	小平 啓佑 自民未来	大浦 兼政 自民未来	針谷 育造 創志会	古沢ちい子 公明党議員会	大谷 好一 自民未来	坂東 一敏 かがやき	内海まさかず 創志会	小久保かおる 公明党議員会	青木 一男 自民未来	松本 喜一 自民未来	梅澤 米満 真政クラブ	天谷 浩明 かがやき	針谷 正夫 かがやき	広瀬 義明 自民未来	氏家 晃 自民未来	福富 善明 無会派	福田 裕司 創政会	中島 克訓 無会派	大阿久岩人 真政クラブ	小堀 良江 真政クラブ	白石 幹男 無会派	関口孫一郎 自民未来
議案第1号	令和5年度栃木市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和5年度栃木市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和5年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和5年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	栃木市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	第2次栃木市総合計画基本構想及び基本計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	不採	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※その他の議案45件は全会一致で可決されました。

表紙の写真 未来へつなく絆

今回の表紙の写真は、3月5日に行われた第48回岩舟駅伝競走大会で早春の岩舟路を駆け抜けるランナーの皆さんです。

4年ぶりに開催された大会は、選手の安全とコロナ対策を考慮し、サッカースタジアムの「シティフットボールステーション」を発着点とした周回コースで行われました。

遠くは二本松市などから男女36チームが参加し、各チームは未来へと大きな絆が続くようお願いを込めて、襷をつなぎました。(撮影協力：岩舟駅伝競走大会 表紙撮影：青木・天谷委員)





浅野 貴之 議員
かかやき

ルール作りに向けて、
関係機関との連携を

高齢社会の進展などさまざまな社会背景から、救急要請にもかかわらず、現場において救急隊が家族等から心肺蘇生措置を望まない旨を伝えられる事案が増えているのではないかと。

D N A R に対する一定のルール作りについては、総務省消防庁や東京消防庁等で各種対応されているが、本市消防本部として D N A R に対する今後の取り組み方針について伺つ。

答弁 上岡消防長

国の動向や社会情勢を注視しながら、D N A R に対する考えを深めていく

D N A R を了承している家族等から救急要請がされた場合、救急隊は救命を目的とした心肺蘇生を継続し

- 佐野市との連携
- D N A R (蘇生拒否) と救急搬送

て搬送することが原則のため、活動を続けることになる。

また、全国で多くの消防本部が、D N A R についての救急活動は課題があると認識しているが、現在、標準的な手順が示されておらず、消防行政に限らず、幅広い分野での知見の蓄積が必要である。

本市消防本部としては、救急の現場はさまざまな状況下であり、どのような場面でも本人の意思および家族の思いに配慮した接遇と説明ができる隊員を育成することが重要であると考え。

併せて、国の動向や社会情勢にも注視しながら、D N A R に対する考えを深めていく。

用語解説

D N A R とは

がんなどの終末期医療において、心停止や呼吸停止に至った際に、心肺蘇生を行わないこと

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



内海 まさかず 議員
創志会

市営住宅入居に際する
保証人の廃止を

国土交通省は、高齢化に伴う住宅困窮者対策として、公営住宅への入居に際して保証人を必要としない方向性を示している。

また、総務省が実施した保証人を廃止した前後での家賃の滞納状況の調査では、滞納率はほとんど変わらなかったとの結果が示されている。保証人がいなくても市営住宅に入居ができるように、保証人制度を廃止すべきではないか。

答弁 宇梶都市建設部長

福祉部局と連携し、世帯状況に応じた柔軟な対応を検討していく

市営住宅の入居に係る連帯保証人は、栃木市営住宅条例で、確実な保証能力を有する者 2 人を用意しても

- 市営住宅問題
- 障がい福祉施策
- 市役所の組織運営
- オリン晁電社跡地

らうことになっているが、入居者が高齢者や障がい者であること等により、2 人の確保が困難であると認められる場合には、1 人でも入居が可能として、入居者の負担軽減を図っている。

連帯保証人の見直しについては、保証人の枠を法人まで拡大することや、連帯保証人に代わる緊急時連絡先の確保などが検討課題となっているが、1 人暮らしの入居者が増えている状況から、連帯保証人の届出は必要と考える。

今後は入居世帯の 6 割以上が高齢者世帯であることや、高齢者世帯を含む生活保護費受給世帯等の入居割合が約 8 割となることから、福祉部局と連携し、世帯状況に応じた柔軟な対応となるよう、県および県内市町の動向などを参考に検討していく。

耐震診断後のスケジュールは？



針谷 正夫 議員
かかやき

武徳殿は旧宇都宮藩士で剣道の指南役を務めた藤田高綱が1911年に設立した市剣道場である。

市はスポーツ施設ストック適正化計画で廃止の方針を示したが、関係団体や同計画策定の際に実施したパブリックコメントにおいて多数の継続の要望を受け、文化的な価値も認められることから、維持保存方針を示している。

令和5年度に、武徳殿の耐震診断を実施することが示されたが、今後、維持保存をどのように進めていくのか、市の見解を伺う。

答弁 永島地域振興部長

令和6年度に耐震計画を策定し、令和8年度以降に耐震工事を実施する

今後のスケジュールは、令和5年

●市剣道場「武徳殿」の維持保存方針の具体化に向けて

- 公共交通
- 市指定金融機関の公金窓口収納・送金事務手数料の有料化問題

度耐震診断を実施する予定であり、その結果、大規模地震に対して倒壊の恐れがあると判定された場合は、令和6年度に耐震計画を策定し、令和7年度に詳細設計、令和8年度以降に耐震工事を実施する。

工事費は、概算費用が算出された時点で議会に説明し、意見を伺う。また、同時に文化財の指定手続きを進めていく。



存続の方針が示された武徳殿

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



水は余っている
高くてもまずいダムの水はいらない



針谷 育造 議員
創志会

給水事業の現状と将来予測の中で、栃木市の水は1日当たり8160m³の余裕水量があるにも関わらず、県南広域的水道整備事業による南摩ダムの水20699m³を買う計画が進んでいる。

現在の余裕水量と南摩ダムの水を買うことで、28859m³の水が余ることになるが、人口減少がさらに進むことは明白で、多大な負担をしてまで水を買う必要はない。

県南広域的水道整備事業に参加しないことが市民のための最善の選択と考えるが、市の見解を伺う。

答弁 大川市長

市議会や市民の意見を十分に聞いたうえで判断する

本市の良質で水量の豊かな地下水

●県南広域的水道整備事業

- マイナンバー
- 市自治基本条例

を水源とした水道水を、次世代に引き継いでいくことは重要である。

しかし、行政は将来においても安定的に水道水を供給する責務を担っており、地下水汚染や濁水などの可能性も考慮する必要があることから、地下水だけに依存するリスクを回避するため、他の水源確保の可能性も検討している。

今後、県から具体的な検討資料が示された際には、市議会や市民に情報提供を行い、意見を十分に聞いた上で判断していく。



大芦川から南摩ダムへ水を補給する吐出口



小太刀 孝之 議員
創政会

立体駐車場内における 車両合流地点の安全対策を

市役所本庁舎は現在の場所に移転してから9年が経過した。立体駐車場は収容台数を減らし、1台当たりの収容スペースを広く取るなど、利用者に対し安全対策を実施してきた。

しかし、2階以上の合流地点において安全対策が不十分な箇所がある。各階（2階以上）のB層側に駐車しようとした時、登り車両は右折するが、下り車両の接近が見えにくいため、車両同士の接触事故が懸念される。立体駐車場における市の安全対策について、見解を伺う。

答弁 大野経営管理部長

注意喚起の表示や カーブミラーの設置等を 検討している

本庁舎の立体駐車場については、

- ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理
- 市有施設および住宅の省エネルギーへの取り組み
- 市道における安全確保と市役所駐車場の安全対策

安全性や利便性を向上させるため、2力所の入口から侵入した車両の合流地点や出口への注意看板設置、西日のまぶしさを防止する遮光パネルの設置、妊婦や障がい者等の専用駐車スペースの設置等の改善を行った。しかし、各階層の上りと下りの合流地点については、相手方車両の接近が確認しにくい状況にあるので、注意喚起の表示やカーブミラーの設置等を検討している。

今後も、駐車場利用者の声を聴くなどして、危険箇所や改善策の把握に努めながら、安全性の向上を図っていく。



本庁舎の立体駐車場

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小久保 かおる 議員
公明党議員会

子育て短期支援（里親ショートステイ）の周知方法は

市のホームページのトップにある子育て情報の中に、里親ショートステイについての記載はあるが、市民の方の認知度はまだまだ低いと思う。特別養子縁組制度や長期間養育する仕組みとイメージが混同し、多くの一般家庭では選択肢にすら上がっていない現状だと思う。

里親登録は「熱意を持って養育に携わることができる」、「生活に困窮していない」等の規定はあるが、特別な資格は必要ない。この制度の周知の考えを伺う。

答弁 石川 こども未来部長

預ける側・預かる側の両方 に対して、広く普及啓発を 図っていく

里親になるために特別な資格は必

- 新斎場の供用開始に向けて
- 再生品提供事業の現状と新たな取り組み
- 子育て短期支援（里親ショートステイ）制度

要ないが、国が定める研修を修了した方が県に登録し、その登録された里親に対して市が事業を委託している。

本制度はまだまだ新しく、市民への浸透も不十分であることから、今年度の里親座談会で意見交換や協力依頼を実施した。

今後も市の広報紙・ホームページ等を活用し、預ける側・預かる側の両方に対して、広く普及啓発を図っていく。





雨宮 茂樹 議員
公明党議員会

**観光のシンボルとして
太平山のプロモーションを**

次期観光基本計画での太平山の位置付けについて市の見解を伺う。

また、栃木市の代表的な観光地である太平山で、山コンを開催する等、新たなイベントを開催し、観光資源としてポテンシャルの高い太平山を市の観光のシンボルとし、本市の観光をプロモーションしていくことが有効と考えるが、市の見解を伺う。

答弁 秋間産業振興部長

**より多くの市民や観光客に
太平山の魅力を発信していく**

次期観光基本計画では、5つの基本目標を推進するうえで、太平山は欠くことのできない重要な観光資源の一つと位置付けており、太平山を核とするスポーツなどを取り入れたニューツーリズムの推進、サイクリ



観光振興の資源として期待される太平山からの眺望

○立地適正化計画
●太平山観光の振興

ングや食などを活用したテーマ性のある周遊観光モデルルートづくり、自然や景観を活用した特色あるイベント開催などの施策を積極的に展開し、より多くの市民や観光客に太平山の魅力を発信し、観光振興を図っていく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



松本 喜一 議員
自民未来

**国が給食費無償化をする前に
市が先行して実施するべきでは**

国において、子育て支援策に力を入れており、給食費無償化についても検討を行っているとのこと。

保護者からもさまざまな意見をお聞きしているが、物価高騰や電気代、ガス代などの値上がりが続く中、家計は大変な状況であると考ええる。

そこで市長として国が給食費の無償化を行う前に、学年によらず全ての児童生徒を対象とした給食費無償化を行う考えはないか伺う。

答弁 大川市長

**中長期的な財政状況を見据え、
時機を見て実施したい**

国においては、急速に進む少子化対策のため、子育て支援の取り組みを本格的に始めたところであり、全国各地で給食費の無償化の動きが増

- みつわ通り商店街の活性化
- 大宮公民館の活性化
- 通学路整備
- 給食費無償化

えてきている。

私も無料化の拡大を実現したいと考えているが、本市においては災害に強いまちづくりのための雨水浸水対策のほか、これまで先送りしてきた大型事業にも取り組んでいく必要がある。

また、ウクライナ情勢の長期化などに伴う物価高騰により、食材価格が大幅に値上がりしているため、まずは保護者の負担を増やすことなく給食を提供するために、物価高騰分を市が支援しているところである。

このようことから、給食費無償化の拡大については、中長期的な財政状況を見据え、時機を見て実施したい。





福田 裕司 議員
創政会

とちぎ秋まつりのさらなる 発展と中心市街地の活性化へ

イベントや祭りは中心市街地や地域の活性化および、市民の一体感の醸成、活力ある街づくりにつなげるための重要な手段である。

これに加え、栃木市の経済効果につなげていくことも求められる。

「とちぎ秋まつり」における本市に及ぼす経済効果について、執行部の見解を伺う。

答弁 秋間産業振興部長

さらなる経済効果に つなげていく

来訪者に秋まつりの支出額を尋ねたアンケートの結果によると、1人当たり約3千円の消費があった。家族連れは家族全体での消費額を回答していると推察されるため、観光基本計画の消費額を勘案するとおおむ

- 栃木市学校ICT教育の実状
- 栃木市ゼロカーボンシティ宣言
実現に向けた対応
- とちぎ秋まつりの成果と振り返り

ね2千円程度と考えられる。

今回の秋まつりは、23万人の来客数があったことから、約4億6千万円の消費額、その他、まつり期間中満室となった市内ホテルの宿泊費や、会場設営・準備等に伴う市内事業者への業務発注などの費用も含めると、秋まつりが本市に及ぼす経済効果は相当なものであったと考えられる。

このようなことから、次回開催に向けては、出店数の増加や市内観光施設の誘導案内の強化など、来訪者の支出を促す戦略を積極的に講じることで、さらなる経済効果につなげていく。



とちぎ秋まつりの様子

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



市村 隆 議員
真政クラブ

施設建て替えに対する市の 補助金額を伺う

法人役員に多数の市OBが名を連ねており、奇異を感じる。

現在の施設は老朽化がひどく、利用者には一日も早く新しい施設に入所していただきたいと思うが、措置費や補助金を支出する以上、市は厳格に対応すべきであり、施設建て替えに関する一連の経緯を明らかにすべきである。管轄外で権限がないとはいえ、支給される補助金は我々の税金である。

施設建て替えに対し市が予定している補助金額を伺う。

答弁 首長保健福祉部長

市単独の経費としては、 1億2千万円を予算計上 している

社会福祉法人栃木老人ホームあず

- 観光農園いわふね
- 社会福祉法人栃木老人ホーム
あずさの里
- 大川市政1期中に決定した法人
に関する事業

この里に関する市からの補助金については、地域密着型特別養護老人ホーム整備に関する補助金として、これまで整備をしてきた他の法人の場合と同様に、県交付金と同額で補助をしており、県交付金に上乗せをするということではなく、県交付金をそのまま事業者に対して支出するという考え方である。

金額については、地域密着型特別養護老人ホームの整備と開設準備経費を併せて1億5425万円を予算に計上している。

次に、養護老人ホームの整備に関する補助金額に関しては、措置施設としてのこれまでの活動実績や県内他市の状況等を考慮し、市単独の経費として1億2千万円を予算計上している。





青木 一男 議員
自民未来

虐待防止と保護者への対応は

さまざまな家庭・保育環境の中で虐待は悪いと思っても多くの悩みを抱える中で行為に至ってしまう。その中で、令和6年4月に開設予定の「こども家庭センター」は、妊娠から子育てを包括的に支援する場所であり、子育てを行う保護者にとって大きな役割を担うと思われる。今後の虐待防止対策を含め、子育てに悩む保護者の方たちに対し、どのような取り組みを行っていくのか伺う。

答弁 石川こども未来部長

虐待のない社会となるよう、子育て家庭に寄り添った支援を実施する

保育園や認定こども園での虐待防止対策は、虐待を未然に防ぐ観点からも、日頃から職員間で報告、相談

●子どもの虐待問題
○渡良瀬遊水地

がしやすい職場環境づくりと、第三者評価や公開保育の実施等、外部による評価を受けることなどが有効であると考える。

虐待を受けていた子どもは、「落ち着いて話を聞けない」、「我慢ができない」、「一つの事に集中できない」等の行動問題のリスクが高まり、虐待が頻繁に行われるほど、そのリスクはさらに高まると言われている。

育児に関する悩みを気軽に相談できる地域子育て支援センターの周知を図るとともに、こども家庭センター準備室を来年度設置し、さまざまな面から、子育て家庭に寄り添った支援を実施し、虐待のない子育てが社会全体に浸透するよう努めていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



白石 幹男 議員
無会派

「子育てへの経済的負担の軽減」に対する具体策は

子育て支援については、第2次総合計画・前期計画の基本方針4「子育てに優しくいつまでも健康で生きがいのもてる栃木市」の中に位置付けられている。

子育て支援の推進として、「結婚活動への支援」、「妊娠出産・子育て支援の充実」、「子育て環境の充実」の3つの単位施策があげられているが、「子育てへの経済的負担の軽減」については具体的に示されていない。具体的にごどのように考えているのか見解を伺う。

答弁 大川市長

こども医療費助成制度の対象年齢拡大等に取り組む

本市では、妊娠、出産から子育て、そして教育まで切れ目のない支援を

●少子化対策・子育て支援
○会計年度任用職員
○上下水道事業

目指し、さまざまな子育て支援に取り組んでいる。

安心して子どもを産み育てられるまちづくりを実現するため、経済的負担の軽減は重要な施策の一つであり、第2次栃木市総合計画に基本施策として「子育て環境の充実」を位置付けて施策の推進を図っている。

その一つとして、令和5年1月より、こども医療費助成制度の対象年齢を高校3年生に拡大した。

また、令和5年度は新規施策として子育て世帯に対し、紙おむつ等の支給や保育園等における使用済みおむつの回収に取り組む。

令和6年4月に「こども家庭センター」を設立し、全ての子ども、保護者を誰一人取り残さない支援体制を構築していく。

継続した安定経営には程遠い
十分な計画立案を



広瀬 義明 議員
自民未来

現在見直しを進めている生活排水処理構想は、今後の下水道事業の在り方を決定するが、料金の値上げも基準外繰り入れ削減に偏り、将来に必要な管渠等更新の財源確保が不十分である。

整備計画地削減は評価するが、未だ削減が必要な地域が多い。

また、農業集落排水においても記述が少なく、近い将来の事業継続と安定性に大きな不安を抱く。

本市の実情に合わせた構想・計画を要望するが見解を伺う。

答弁 小野寺上下水道局長

進捗状況の検証と見直しを図り、生活排水処理人口の向上を目指す

現在見直しを進めている生活排水

○カーシェアリング
●栃木市の下水道事業

処理構想は市内全域を対象とし、現在の構想で集合処理とされている区域であっても、整備済みの区域から離れている地域や、既に合併処理浄化槽の普及が進んでいる地域は、整備までの期間やコストを勘案し、将来に過度な負担が生じぬよう、経済性に重点を置いた見直しを行った。

見直しの効果として、現在の構想と面積を比較すると、公共下水道等の集合処理区域が333ha縮小して4090.7haとなり、減少分は個別処理区域とした。また、見直しに伴う削減効果は、整備に要する概算事業費26億1千万円、14.3%を見込んでいます。

なお、本構想は令和8年度と令和17年度に中間目標を設定しており、その都度進捗状況を検証し、適宜見直しを図りながら、生活排水処理人口の向上を目指す。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、
請願権等を守る為の陳情 (提出者：基本的人権を守る栃木県民の会)



【陳情項目】

- ・貴自治体および貴議会において特定の宗教法人およびその関連団体（ただし、反社会的団体との法的根拠がある団体は除く）との関係を遮断する内容の宣言・決議をしないこと
- ・貴自治体および貴議会において議員を含む公人および私人に対し、特定の宗教に対する信仰の有無を問うたり、その団体との関係を調査・質問したりしないこと

3月定例会に提出された本陳情は、総務常任委員会において審査を行いました。

審査に先立ち、総務常任委員研究会を開催し、陳情書提出者から陳情の趣旨などについて意見聴取を行いました。

委員会の審査では、「議会の調査権や質問権を制限する内容が含まれていると思われる。」との意見や「本陳情を採択した場合、言論の府である議会としての役割を自ら放棄することとなり、自己否定にもつながると考える。」との意見があり、不採択とすべきものとなりました。

また、本陳情については定例会最終日の本会議においても不採択となりました。



提出者から意見聴取を行いました

モニターインタビュー スペシャル (No.30、31)

今回はお2人の「議会広報紙モニター」にご登場いただきました。

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。



議会広報紙モニター
針谷 忠宏 さん

Q：議会だよりを読んで感じたことは

A：この機会をいただき、今までより議会への興味が増した。そして、議会だよりを通じて議会活動の一端を知ることができ大変良かった。

Q：議会のイメージは

A：今まで、議会はどんな活動をしているのかと思っていた。仕事柄、栃木市のインフラ整備は決して十分とはいえないと感じていたので議員の皆さんにはもっと頑張ってもらいたい。

Q：栃木市に期待することは

A：ハード・ソフトの面から常に住みやすい環境整備を第一に、市民目線で考えて市政を進めてほしい。そしてもっともっと、誇れる栃木市にしてほしい。

(インタビュアー：市村委員)

Q：議会だよりを読んで感じたことは

A：全体的には見やすく、理解しやすいと感じる。とてもよく作られている。

一般質問に関しては、議員(質問者)は、もっと突っ込んだ質問をしてほしい。

Q：議会のイメージは

A：一人一人の議員が真剣に、市民のために、共に考えそして行動して、結果を出してほしい。

Q：これからの栃木市は

A：栃木市を中心に、県南地域の合併を実現させ、企業誘致をさらに進めて、大学などの誘致も図り、県庁の誘致を実現させてほしい。

そのためには、議員一人一人の協力が必要である。

(インタビュアー：天谷委員)



議会広報紙モニター
山本 勲 さん

▶ 議会改革を進めています（議会改革検討委員会）

令和 4 年 4 月の改選後に発足した議会改革検討委員会では、「投票率の向上」、「予算・決算特別委員会」、「常任委員会の強化」の 3 項目について検討しています。

令和 5 年 3 月末日現在までに 7 回の会議を行い、議員全員協議会において 2 回の中間報告を実施しました。今回は特に「常任委員会の強化」に関する検討結果について取り上げます。

報告があった内容は以下の 7 項目です。

- | | |
|----------------|--|
| 1 研究課題の設定について | 在任中に少なくとも一つの研究課題を設定する。 |
| 2 先進地視察について | 視察先のうち一つは、設定した研究課題に関するものとする。 |
| 3 意見交換会について | 議会報告会で行っている常任委員会版の意見交換会についても設定した研究課題をもとに相手先を選定する。 |
| 4 報告書の作成について | 議会報告会への結果報告と併せて、報告書を作成し、議長あて提出する。 |
| 5 研究会について | 必要に応じて、現地視察を含めた常任委員研究会を実施する。 |
| 6 研修会について | 政務活動費を使用した先進地視察や各種団体の研修会への参加について、必要に応じて、常任委員会単位でも活用する。 |
| 7 他の委員会の参加について | 予算措置を伴わない意見交換会の傍聴などについては、他の委員会の委員も可能とする。 |



これらの結果を踏まえ各常任委員会では研究課題の設定等を行い、常任委員会の強化に向けて取り組みを進めています。

このほか予算・決算特別委員会については審査スケジュールの見直しや会派代表質疑を会派代表質問とするなどの変更について、投票率の向上については子ども議会の開催について検討を行いました。

▶ 意見交換会（産業教育常任委員会）

産業教育常任委員会では、3月14日に市認定農業者協議会の皆さまと「農業基盤の強化について」をテーマに意見交換会を行いました。

協議会の方からは、「肥料代や電気代の高騰により、安定的な経営が難しい状況にある。引き続き補助金等の支援をお願いしたい。」との意見や「耕作放棄地は今後も増えていくと思う。特に畑作については、区画を大きくするなどの整備をしてもらいたい。」などの意見がありました。

委員からも「これからの農業を発展させるには環境保全型農業の推進も重要になってくると考えている。認定農業者の観点から環境型農業について、どのように考えているのか。」との意見や「農業で食べていけるような仕組みを政治が作っていかなくては駄目だと考えている。議会も行政も農業者も一体となって行ければと思う。」などの意見があり、活発な意見交換が行われました。

今回の意見交換会は、常任委員会で設定したテーマをもとに開催したよ。これからも常任委員会ごとに調査研究を進めていくよ。



認定農業者の方の意見を聞く委員

▶ 市長へ物価高騰に対する緊急対策を求める要望書を提出

新型コロナウイルスの度重なる感染拡大やウクライナ情勢等による世界的な物流の混乱などにより、物価高騰や賃金の伸び悩みによる購買力の低下が懸念されており、市民からも物価高騰に対する引き続きの支援や一部の事業者や市民に限らない幅広い対策を行ってほしいとの要望が寄せられていることから、さらなる経済対策の強化を求め、市長へ要望書を提出しました。



要望内容

- 1 栃木市民の暮らしを守るため、できうる限りの支援策を行うこと
- 2 多様な視点で公平性が確保できる支援策を行うこと
- 3 国・県に対し、市民の生活を守る取り組みのさらなる充実について働きかけを行うこと
- 4 上記の支援策を迅速かつ効果的に行うこと

▶ 議会から市長へ6項目を提言（議会報告会提言書）



令和4年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染対策に留意しながら、高校生や常任委員会で対象者を限定した意見交換会を行うなど、さまざまな方法を組み合わせて意見を集約しました。

皆さまからいただいたご意見やご要望の中から、議会として特に重要な課題と考えるものを提言書としてまとめ、市長へ提言しました。

議会からの提言



提言書の詳細はこちら



提言1 原油価格・物価高騰に対する支援について

- ①生活者の目線に立った効果的かつ公平な支援の実施
- ②支援による効果の検証と市民への説明



提言2 消防団員の確保について

- ①消防団への理解促進に向けた取り組みの実施
- ②機能別消防団員の積極的起用



提言3 子ども食堂との連携による支援について

- ①子ども食堂の活動の周知
- ②行政や子ども食堂運営団体間のネットワーク整備



提言4 ALTを活用した英語教育のさらなる向上について

1校1人のALTを配置し、積極的に活用することで、本市の英語教育のさらなる向上に努めること



提言5 管工事業者と行政の連携による体制強化について

- ①災害に備えた取り組みの推進
- ②工事の理解促進に向けたさらなる周知の検討



提言6 若者にとって魅力的なまちづくりについて

- ①安全・安心な通学路の整備
- ②公共交通の利便性向上
- ③栃木駅周辺エリアを中心とした街なかのさらなる賑わい創出



議会を見る方法は

傍聴席から

- ・予約は必要ありません。
- ・市役所 4 階に直接おいでいただき、傍聴席入口で、傍聴受付簿（カード）に住所、氏名を記入してください。



※注意事項※

- ・体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。
- ・咳・くしゃみ等のエチケットにご協力をお願いいたします。

傍聴席以外でも

○生中継

本会議の様子は栃木ケーブルテレビ・インターネットで中継しています。

ケーブルテレビ（地上デジタル112チャンネル）

- ・リモコンで「11」を選局し、チャンネルの上ボタンを押してください。

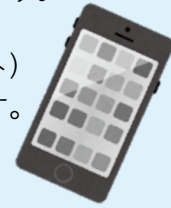


インターネット

議会のホームページからご覧ください。本会議を全て配信しています。

○録画放送（インターネット）

- ・過去の本会議が見られます。
- ・スマホなどでQRコードを読み取ると簡単です。



6月定例会の予定（変更になる場合があります）

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5	6	7	8	9	10
				新聞折込	本会議 議案等提案	
11	12	13	14	15	16	17
		本会議 『一般質問』				
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)					
25	26	27	28	29	30	7/1
			本会議 議案等採決			

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、6月8日(木)に新聞折り込みを予定しています。

折り込みチラシ裏面には、一般質問で議員がどんな質問をするのかも記載されています。ぜひ、ご覧ください。



栃木市
マスコットキャラクター
とち介

栃木市議会広報委員会

3月議会の会期中に、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)が行われ、日本代表は奇跡とも思われる試合内容で3度目の優勝を果たし、希望と勇気をもらいました。優勝のキーワードは「諦めないこと」、「みんなを信じて」と。この日本社会がこうあってほしいと思います。

3月議会は、来年度の予算を決める重要な議会です。コロナ、物価高騰、少子高齢化と市政を取り巻く課題は尽きません。「市民の暮らしを守る」予算になっているのか、議論が交わされ、議会だよりでは、その内容についてお伝えしています。

議会だよりをきっかけにぜひ、議会傍聴にも来ていただきたいと思えます。(白石幹男記)

委員長
副委員長
委員

- 写真アドバイザー
- 若松千草
 - 白石幹男
 - 青木一男
 - 内海まさか
 - 坂東一敏
 - 小平啓佑
 - 市村孝之
 - 小太刀隆之
 - 川田俊介
 - 雨宮茂樹
 - 天谷浩明

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。〈TEL: 0282-21-2505〉